

第19回愛知県柔道整復専門学校柔道大会

6月7日(日)午前10時から、学校法人米田学園 米田柔整専門学校 米田道場にて「第19回愛知県柔道整復専門学校柔道大会」が開催され、県内柔道整復専門学校6校のうち、米田柔整専門学校、東海医療科学専門学校、名古屋医健スポーツ専門学校の3校が出場した。

また、救護活動に米田柔整専門学校 副校長片桐 幸秀先生、教諭生駒 慎二先生及び本会から石田 真由美会員、橋本 義弘会員指導の下、学生5名が授業の一環で救護実習ボランティアとして参加した。

試合方法は、3人制団体戦(先鋒:男子無段者・中堅:女子無段者・大将:男子無段者)とし全員無段者のリーグ戦にて行われた。また「多くの選手に出場させたい」という各専門学校からのご意見もあり、試合ごとの選手交代を可能とし総勢16名の選手が参加した。

藤川大会会長の挨拶、石田 雅明審判長の試合上の注意及び申し合わせ事項の後、選手宣誓を米田柔整専門学校の大塚 蒼聖選手が力強い声で行った。今大会は、選手全員無段者の試合のため、接戦の試合が多く白熱した試合内容となり、2勝した米田柔整が3連覇を達成した。

柔道整復師として大切な柔道を、これから柔道整復師として旅立つ若い方々に守っていただくため、柔道整復専門学校柔道大会は、可能な限り続けていきたいと思う。(柔道部長 中村 太)



中村柔道部長と柔道部員による
学生へのスパインボード講習

優秀選手賞

- ・米田柔整専門学校
林 陽夏穂選手
- ・東海医療科学専門学校
内田 柊選手
- ・名古屋医健スポーツ専門学校
橘 虎次郎選手



優勝: 米田柔整専門学校



準優勝: 東海医療科学専門学校



第3位: 名古屋医健スポーツ専門学校

第47回公益社団法人愛知県柔道整復師会柔道大会

午後1時から、同じく米田道場にて「第47回公益社団法人愛知県柔道整復師会柔道大会」が開催され、県下10支部本会会員による3人制団体戦(先鋒:30歳代以上・中堅:40歳代以上・大将:50歳代以上)のトーナメント方式で行われた。今大会より50歳以上の選手配列が自由となったため、先鋒に50歳代の選手が入る支部もあった。

藤川大会会長の挨拶後、前回大会までに本大会選手及び監督で7回及び15回出場された会員の多年にわたる斯道への精進をたたえ表彰が行われた。続いて、石田 雅明審判長の試合上の注意および大会申し合わせ事項の説明があった。今大会は、国際柔道連盟試合審判規定で行われたが、下半身への攻撃・防御を認める特別規定を採用し、柔道の醍醐味が発揮できる試合展開となった。また、米田柔整専門学校教諭 堀田 篤先生と石田 桃子先生が審判員として参加していただいた。

前回優勝の一宮支部 浅井 友哉3段が、心のこもった選手宣誓を行い10支部によるトーナメント試合が開始された。今大会チーム構成は3人制だが、3名の選手が揃わず2名で参加した支部が3支部。また、今大会選手最高齢は、岡崎支部大将で出場した加藤 勇雄会員の69歳であった。(柔道部長 中村 太)



選手宣誓
一宮支部 浅井 友哉会員



優勝: 笠寺支部



準優勝: 一宮支部



第3位: 半田支部



第3位: 大曾根支部